

駐日モロッコ大使館 次席 表敬訪問



9月14日(月)、駐日モロッコ大使館次席のアブデルカデル・ジャムーシ氏はじめ7名がモロッコの近況紹介を目的に中経連を訪れ、伊藤専務理事等と懇談した。

ジャムーシ氏からは「モロッコは、約10億人のマーケットを持つアフリカ・欧州の玄関口に位置しており、航空機産業を中心に10の産業が盛んである。若年層が多い人口構成で、教育レベルも高い。また、アフリカ諸国の中ではインフラが整備されているのに加え、立憲君主国家として治安状況が良く、近年テロの発生もないなど、日本企業にとって魅力的な進出先だと考えている。今後も日本で継続的なPRをしていきたいので、ご協力をお願いしたい」との発言があった。

これに対し、伊藤専務理事は「政治的安定感やインフラの良さ、日本から欧州へ移動するのと同じ距離・時間という面で、モロッコは日本企業の進出先になり得るだろう。今後も日本ならびに中部圏で積極的にモロッコをPRしていただきたい」と述べた。

(国際部 平山 りえ)

中部国際空港の取り組みについて

10月5日(月)、中経連は総合政策会議において、中部国際空港(株)代表取締役社長の友添雅直氏を招き、「中部国際空港の取り組みについて」と

題した講演会を行った。

友添氏は、空港間・地域間競争の激化やLCCの拡大などの環境変化や増加するインバウンドの取り込み、中長距離路線の維持拡大、空港アクセス方法の整備などセントレアの抱える課題を整理したうえで、需要と路線の拡大、二本目滑走路の整備促進、商業事業拡大などへの取り組み状況について説明を行った。さらに、出張や会社旅行での利用、国際航空貨物の利用、空港アクセスなどのインフラ整備、中部のブランド発信などにおける地域からの支援を訴えた。

(総務部 亀井 勝彦)

定例記者会見

10月5日(月)、中経連は総合政策会議終了後、三田会長の定例記者会見を行った。

はじめに、三田会長は、9月30日から米国で行われているTPP閣僚会合で大筋合意の見通しが得られたことを受け、わが国の貿易が一層促進され、経済がさらに活性化していくことへの期待感を示した。

次に、経済情勢について、本会最新の景況アンケートの結果が前期比でマイナスになったことなどから、景気は緩やかな回復を続けながらも、やや足踏みの状況にあるとの見方を示した。また、近く行われる内閣改造について触れ、政府に対して、引き続き「経済再生」「地方創生」「少子高齢・人口減少対策」など重要課題へのリーダーシップの発揮と具体的な政策の推進を求めた。

次に、伊勢志摩サミットについて、ゲートウェイとなる中部国際空港ならびに名古屋駅での案内・歓迎や、この機会を活かした産業・観光のPRを通じて、東海地方の認知度向上や昇龍道エリアへのインバウンド増加など、地域振興へつなげていくことが重要との認識を示した。また、8月に本会事務局に立ち上げた「伊勢志摩サミット支援準備室」にて、引き続き行政と連携し、サミット支援のための具体的事業の検討を進めていくと述べた。

続いて、10月18日から4日間の行程で、インドネシアへの昇龍道ミッションを実施し、同国の官公庁、経済団体、観光団体向けのPR活動を行うことを紹介した。

最後に、10月2日に開催した「西日本経済協議会 第57回総会」(本誌6ページ参照)について報告するとともに、今回とりまとめた決議に基づき、10月23日に各経済連合会のトップが揃って国への要望活動を行うと述べた。

(総務部 伊藤 邦広)

伊藤専務理事は「昨年1月に就航延期が決定されたが、依然として、ビジネス・観光ともに多くの需要が見込まれ、中部ージャカルタ線は双方のビジネスにとって利益を生み出す有益な路線になる」と述べた。

これに対し、タウフィック氏から「中部圏と経済的な繋がりが深いことが理解でき、路線開設を前向きに検討したい。お互いWin-Winの関係となるよう中部圏の皆様を引き続き支援をお願いしたい」との発言があった。

(社会基盤部 奥山 基樹)

ガルーダ・インドネシア航空 総代表 表敬訪問

10月8日(木)、ガルーダ・インドネシア航空日本・韓国・アメリカ地区総代表のファクダネル・タウフィック氏等が就任挨拶のため中経連を訪れ、伊藤専務理事等と懇談した。



昇龍道 NEWS

Vol.23

「ツーリズムEXPOジャパン2015」へ 昇龍道ブース出展

9月25日(金)～27日(日)、中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会(会長:三田中経連会長)は、中部運輸局、(公社)日本観光振興協会中部支部、名鉄観光サービス(株)、中部国際空港(株)と共同で、東京都内にて開催された日本最大級の観光博覧会「ツーリズムEXPOジャパン2015」(主催:(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会)に昇龍道ブースを出展した。

ブースでは、昇龍道の観光資源やグルメ・銘酒

などを紹介するとともに、犬山祭保存会による山車・からくりの実演などを行った。また、名古屋ご当地アイドルグループ「OS☆U」などによるトークショーや、伊賀忍者によるショーを実施するなど、ブースは大きな盛り上がりを見せた。

(社会基盤部 高井 勇輔)

